



日本市場に合わせた電子契約サービスにするため、 二人三脚で進めた電子署名機能の実装



設立 2014年7月
資本金 5,500万円
URL <https://www.forcs.com/jp/>



日本フォーシーエス株式会社は、韓国の上場企業であるFORCSの日本支社として、電子文書ソリューション分野で活動しています。
FORCS は1995年から韓国で電子文書ソリューション事業を開始しており、独自のペーパーレス技術により帳票を電子フォームにする「OZ e-Form(オズイーフォーム)」や、電子契約サービス「eformsign(イーフォームサイン)」などの製品を開発・提供しています。約28年の経験と、6割の社員がエンジニアで高い技術力を兼ね備えており、充実した機能面が特長です。
韓国の4つの主要銀行、6つの地方銀行などセキュリティ要件の高い金融機関にも導入されています。日本以外ではシンガポールにも支社を持ち、アジア圏を中心にワールドワイドにサービスを展開しています。

ー サービス導入までの背景をお聞かせください。

開発担当者様 日本で電子契約サービスを展開するにあたり、要件を確認していきまして、“デジタル署名と認定タイムスタンプ”が必要だとわかりました。電子契約には本人性と契約日時、改ざんがされていないかの証明が重要となりますが、「eformsign(イーフォームサイン)」では韓国と日本で署名法が違うため、日本のお客様にそのまま利用してもらうのは難しい状態でした。そこで、電子署名に必要な機能を扱っている日本の事業者をリストアップして調査した結果、グローバルサインのDSSにたどり着きました。日本のお客様に信頼されるサービスにするため、数ある事業者の中から検討を行った結果、グローバルサインを選びました。



— DSSの実装に至るまでに苦労した点はありますか？

開発担当者様 最初に営業担当の方からご連絡をいただき、流れや導入までのプロセスを親切にご説明していただきました。サンプルコードをいただいて、開発部隊がテスト環境で検証を行った際は問題なく作動したのですが、本番環境で実装した際にネットワークにエラーが出てしまったのには苦労しました。ただ、その時こちらの質問に対して、技術営業の方が迅速に回答してくださり、遅くても翌日までに必ず一次回答をいただけたので、密にコミュニケーションを取りながら安心して進めることができました。



— DSSの導入後の変化があれば教えてください。

営業担当者様 営業的な観点ですが、電話営業部隊からは営業がしやすくなったという意見があります。電子署名を付与することでAdobe Acrobat Readerで出力されたPDFを見たときに、今まではタイムスタンプのみでしたが、署名情報も加わることで表示される情報が増えたので、お客様に説明する際に印象が良いという声がありました。またDSSの導入後、電子署名の対応についてお問い合わせいただいていたお客様にeformsignのチャージ型プランをご購入いただくことができました。

— 今後の日本以外でも電子署名を展開していく予定はございますか？

営業担当者様 日本では電子署名に関する話をいろいろ伺っていたので、日本の市場に合わせた電子契約サービスの展開を優先していましたが、ヨーロッパにもご利用企業様がいらっしゃるのので、海外展開は十分に考えられます。シンガポール支社ではアジア圏を担当していますが、例えば台湾では署名と併せて映像を一緒にレコーディングしておく必要があるなど、国ごとに署名法が異なるので、海外展開の際はその国の署名で必要な機能・要件をよく把握し、対応しています。

 **GlobalSign** by **GMO** **GMOグローバルサイン株式会社**

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス
TEL：03-4545-1800（受付時間：平日10:00～18:00）

グローバルサイン

検索

<https://jp.globalsign.com/>